



ホンヤドカリ

●ヤドカリの仲間

特長:貝がらを家にするエビの仲間です。
観察するには:磯(いそ)の波打ちぎわや浅瀬(あさせ)にいます。感じられると貝の中に引っこんでしまいますが、静かにしていると、足をだして動きだします。



ミズクラゲ

●ミズクラゲ

特長:港のおくのよごれた海でも生きられるクラゲです。
ユラユラとたどよう動きは、なぜかやされます。
観察するには:波や風に流され、砂浜(すなはま)に打ち上げられていることもあります。



キュウセンのメス

●キュウセン

特長:ベラの仲間で、むなびれで羽ばたくように泳ぎます。
夜は砂(すな)にもぐってねむります。大きく成長すると、体が白から緑色に変わり、性別(せいべつ)もメスからオスへ変わります。

●イソガニの仲間

特長:磯(いそ)の波打ちぎわにふつうにいるカニです。
甲羅(こうら)が平らなほうがヒライソガニです
観察するには:石をひっくり返して、さがしてみましょ。観察したあと石は元にもどしましょう。



イソガニ

●カタクチイワシ

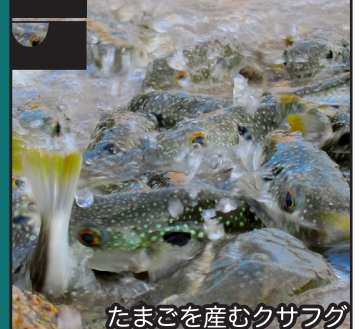
特長:夏になると大群(たいぐん)がやってきます。小さな魚で、大きな魚やイカに食べられてしまいます。
観察するには:水面近くで何百匹(ひゃく)という銀色のむれを見ることができるともありません。



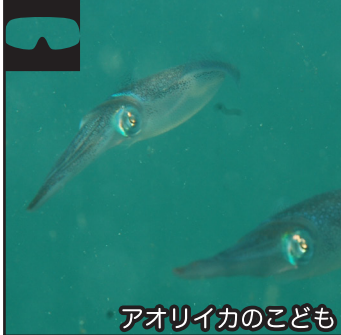
カタクチイワシ

●クサフグ

特長:クサフグは皮や内蔵(ないぞう)に毒があるため、食べられていません。
観察するには:夏のはじめの大潮(おおしお)に、波打ちぎわでたまごを産みます。魚をおどかさなように、岩かげから静かに観察しましょう。



たまごを産むクサフグ



アオリイカのこども

●アオリイカ

特長:あたたかい海を好むイカで、夏のはじめにたまごを産みます。こどもたちは、夏から秋に浅い海で成長します。
観察するには:海水浴シーズンは、波間にむれていたり、ロープやブイのかげにかくれていたりします。



潮(しお)がひいたときのタデジマイソギンチャク

●イソギンチャクの仲間

特長:岩にひっつき、近づくいきものを触手(しょくしゅ)でとらえます。
観察するには:磯(いそ)の岩で見られます。潮(しお)が引くと丸くちぢみ、だんごのようになりますが、水につかると元の形にもどります。



イトヒキハゼとテッポウエビ

●イトヒキハゼ

特長:小さなハゼの仲間です。危険(きけん)を感じるとエビに知らせるかわりに、エビのあなをかくれがにに使わせてもらう共生(きょうせい)関係をもつことが知られています。

●カサゴ

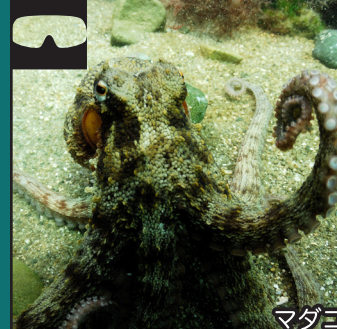
特長:ガシラでおなじみ、コロンとした体が、かわいい魚です。食いしんぼうで、口に入るサイズのカニは飲みこんでしまいます。
観察するには:こどもは1年中浅い磯(いそ)で見られます。



カサゴのこども

●マダコ

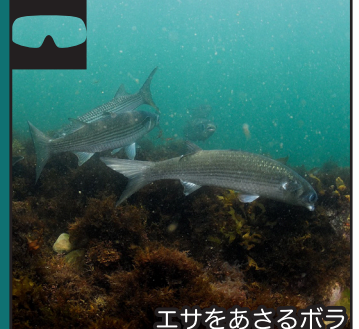
特長:明石海峡(あかしかいきょう)名物(めいぶつ)といえば、タコですね。せまいところが大好きで、漁(り)では「たこぼ」をしずめ、そこに入ったタコをとります。
観察するには:岩かげで見られるかもしれません。



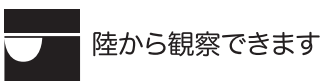
マダコ

●ボラ

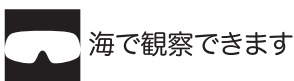
特長:よごれた水に強い魚で、大きくなります。よく大きなむれをつくります。ときどき水面から連続ジャンプしますが、その理由はなぞです。
観察するには:浅場で藻(も)を食べるすがたが、見られます。



エサをあさるボラ



陸から観察できます



海で観察できます

アジュール舞子いきもの図鑑 (海のいきもの / 夏秋)

撮影・協力 宮道成彦 小林令伊子